



2012年(平成24年) 1月10日 火曜日

経済5面 国際7.9面 スポーツ16.17.19面 生活27.29面 小説29面 文化31面 地域33面 囲碁・将棋37面 TV・ラジオ35.37.40面

朝日新聞大阪本社 発行所:〒530-8211 大阪市北区中之島3-2-4 電話:06-6231-0131 www.asahi.com

OBIC7 logo and text: 多彩な業種・業務ソリューションを誇る 統合業務ソフトウェア

オピニオン・社説・声 10.11面 社説 核燃再処理急ぐな/F35選定への疑問 座標軸 苦しむ日本、曲がり角は70年代に

原発巡る2人の主張 エグジクティブ vs. フェイバリット ミュース 経済成長を追いかけるのか、新たなくらしに移るのか。前原誠司さんと枝野幸男さん、どちらの主張に共感しましたか? 連載最終回は「原発」を通して考えた。 3面

ハンガリー ポテチ税、菓子業界を直撃 ハンガリーが肥満防止のために昨年9月に導入した「ポテチ税」に、思わぬ副作用が。売上げの落ち込みを恐れた菓子業界が大規模な抗議活動に踏み切り、3千人以上が失業の危機にさらされている。 9面

新成人 自分たちでつくる日本の未来 東日本大震災後、初めて迎えた成人の日。苦難の時代に新成人は何を思うのか。各地で聞くと、はっきりとした答えが返ってきた。「日々を懸命に生きたい」「自分にできることを考えたい」。旧成人も負けてはいられません。 39面

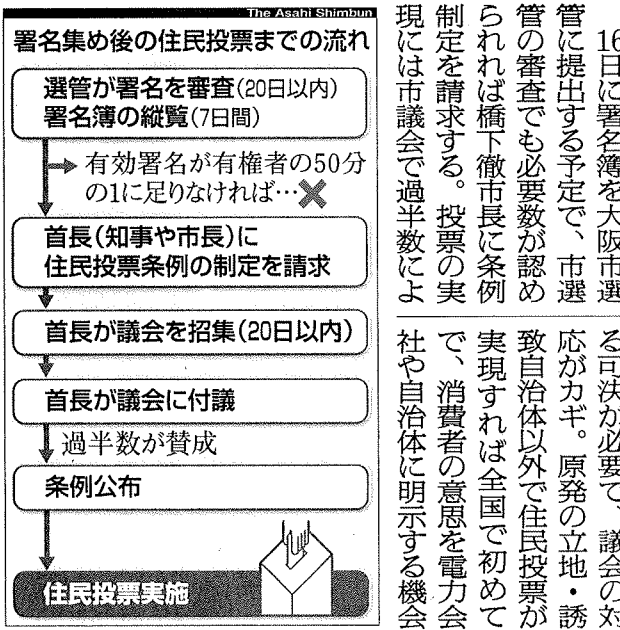
緊張続くシリア 宗教対立が悪化 7面 高校バレー、男女とも九州勢V 19面 新聞でまなぶ 4コマ漫画を説明しよう 24面 台湾人容疑者、任意同行中に自殺 39面 朝日 スマート就活 支えます 23面

原発投票「5万人署名」

市民団体「大阪必要数超す」

大阪と東京で原発の是非を問う住民投票を目指す市民グループ「みんなの決めよう」が9日、投票条例制定を大阪府に直接請求するために市民から集めた署名が地方自治法で定められた必要数(有権者の50分の1)を超えたと発表した。

選管審査へ



署名集めは昨年12月10日にスタートし大阪は9日が期限だった。発表によると、9日時点で集計できた署名は必要数の4万2673人分を超え、5万人に達したという。最終的に約5万3500人分になる見込み。署名簿が提出されると、市選管は名前・住所・押印があるかなどを審査する。



是非を問おうと活動してきた。原発の是非は国や電力会社でなく電力を使う市民が自ら決めるべきだと訴えている。(大谷聡)

被災地人口

45市町村の人口減

東日本大震災後、岩手、宮城、福島県の沿岸部と原発事故の避難が続く計45市町村の人口減が6万5千人に達したことが分かった。

た。うち8割は30代以下の若者を雇用する。岩手、宮城両県と周辺の18市町村について、町村に人口を昨年1月で世代別にみると、震災による避難の被災者や、役場の被災者などが得られなかったり、前年とを比較すると、

明日の社会に責任をもとう

「日本の自殺」を憂う

主筆 若宮 啓文

今年の正月ほど多くの日本人が亡き人の鎮魂を祈り、家族や社会の幸せを願った年も少なかったのではないかと、3・11後の苦難が続くこの国である。天災ではあった。だが、人災でもあった。自然へのおそれを忘れ、福島第一原発に至っては津波対策の不備がわかっていながら目をこらして、「まさか」で済ませてきた。事故の検証が進むにつれて、かつてこの国の指導者が太平洋戦争に突入した無

責任を思い出す。いま、次の「まさか」が心配だ。ここまで積み上げてしまった借金財政がいよいよ破綻して世界の経済危機を招かないか。借金のついで明日の日本をたいたしにしないか。そんな「まさか」のことである。

学者たちが「グループ一九八四年」の名で共同執筆。古代ギリシャもローマ帝国も自らの繁栄に甘えて滅んだと指摘、日本も衆愚政治で同じ道を歩んでいると警告する刺戟作だった。昨年、まさにギリシャとイタリアの財政危機が世界の耳目を集めたのは因縁めいているが、果たして日本はどうだろう。

あのころの日本は高度成長を続けていたが、世界第2位になった経済を享受し、豊かさを感じていた。論文はローマ人が怠惰になって「パンとサーカス」を求めたように、日本人は福祉

や減税、平等、利便を求めて自律精神を失い、政治はそれに迎合して赤字も増やすと、やがてパブル経済に踊る日本を予見していたと言えるかも知れない。バブル崩壊からほぼ20年。後始末に追われながら国の借金が瀬戸際までふくれたいま、「日本の自殺」がかつてなく現実味を帯びて感じられる。税金や年金などを合算すると、これからの生まれ育つ世代の負担と受益の差額が、60歳以上の人口より1億6000万人以上も多くなるという試算も

あきらめなかった

サッカーの第90回大会は9日、手塚が決勝が行われ、千葉が四日市(2-1)で破り、90分目の優勝を果たした。前半1分に先制ゴールを挙げ、CKから追いつき、後半に速攻から再び和

つけを回す「虐

ぎなかつたか。欧州の融危機を目の当たりにしたカミが本当に出たときは、だいたいのインソフツ末を思い出す。